

令和7年度 自己評価シート【油面住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-（1） 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】 (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館の理念や基本方針が利用者へ伝わるように、児童館のパンフレットに明記し配布しています。また、地域懇談会、乳幼児クラブの保護者やランドセル来館登録の面談等でも、児童館を知ってもらうため、理念や基本方針を丁寧に伝えるようにしています。
1-1-（2） 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
目黒区児童館運営指針には児童館の理念や基本方針が明文化されていて、自館でも目黒区児童館運営指針をもとに事業の総括や計画を立てています。今年度目黒区児童館運営指針の改定があり、全職員で説明会に参加し、個々の職員が理念や基本方針の理解を深めることができました。	利用者や地域関係者に、よりわかりやすい言葉や手段で、児童館の理念や基本方針を伝えていくことが必要と感じています。そのために、出張児童館など館外の事業を増やして児童館を知ってもらう機会を増やしたり、HPを見やすく作成したりするなどの工夫をしていくことが大切であると考えています。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-（1） 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】 (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理	

念や基本方針等に盛り込んでいない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	毎年、児童館の運営指針をもとに各事業の振り返りを行い、次年度の事業計画を立てています。行事を実施する際は、児童館運営指針を参考に目的を設定しています。
2－1－（2） 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を発揮している。	
【判断基準】 (a) 児童館の施設特性を発揮している。 (b) 児童館の施設特性を発揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を発揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>児童館の3つの部屋の特性を生かし、子どもたちが安心安全に遊ぶことができる環境を整えています。土曜日曜の午前中の乳幼児のプレイルーム開放、平日17時以降の中高生タイムなど、各年代が有効的に部屋を活用できるような工夫もしています。</p> <p>また、複合館という点を生かし、油面住区住民会議とは良好な関係が築けています。住区まつりなどの行事で連携・協力し、主任児童委員や青少年委員などの地域関係者とも日頃から連携できる関係にあり、児童館が「子育て・子育てを支えるまちづくり」の拠点として、地域のコミュニティづくりの役割を担うことができています。</p>
2－1－（3） 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】 (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) － (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	目黒区子ども条例や東京都こども基本条例などの冊子を遊戯室に置き、子どもたちがいつでも読めるようにしています。定期的実施している子ども会議を通して、子どもの権利擁護の話をし、児童館は子どもたちの思いを実現できる場所であることを伝えています。また、普段の子どもたちとの何気ない会話や子どもたちのつぶやきを職員が丁寧に受け止め、職員間で共有しています。定期的に、子どもの人権について、自身の言動の振り返りや確認も職員間で行っています。
2－1－（4） 児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点

乳幼児から高校生が、様々な目的に応じた利用ができるように、年齢対象者別の時間等を設け、部屋の有効活用ができています。また、遊びに来る子どもたちを職員だけでなく、住区住民会議等の地域関係者と見守り、連携することができています。	土曜、日曜午前中の乳幼児のプレイルーム開放や、ボール遊びが苦手な子たちのための「ハッピータイム」や中高生のための図工室開放、プレイルーム優先の「中高生タイム」など、子どもたちの声を生かし、各年代が施設特性を生かした利用ができるようにしています。さらに、利用を増やすために、丁寧な説明や PR を強化するなど周知の徹底が必要だと感じています。
--	--

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-（1） 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】 (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。 (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。 (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもの様子で気になることがあれば、朝会、昼会などで共有し、全職員が共通理解を持って、子どもの発達に応じた声かけや対応がとれるようにしています。また、配慮が必要な子どもに対しても、一人ひとりの状況に合わせた対応がとれるように、保護者と連携を持ち、特性や発達過程を理解するように努めています。
2-2-（2） 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】 (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。 (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。 (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	プレイルームでは、30 分ごとに遊び決めを行い、子どもたちが主体となって遊びを選択できるように声かけをしています。 児童館まつりでは、子どもスタッフを募集し、スタッフ会議で出た子どもたちの意見や要望をおまつりに反映し、遊びのコーナーをみんなで作り上げ、達成感や充実感を味わえるようにしています。
2-2-（3）	

子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。	
【判断基準】 (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。 (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。 (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>中高生の来館が日常的にあり、小学生がプレイルームで中学生とドッチボールなどをして遊ぶことを楽しみにしている様子があります。また、高校生がボランティア登録をして、児童館まつりや出張児童館などの行事を積極的に手伝ってくれ、とても良好な異年齢の関わりが見られます。</p>
2－2－（4） 遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<p>一人で来館しても、仲間同士で来館しても、異年齢との関わりを持ち、児童館での遊びを通して、子ども同士の認め合いや思いやりを大切にしたい仲間作りができるように、各部屋の職員が見守っています。</p>	<p>子ども同士のトラブルに対して、全職員が細やかな対応ができるように、子ども同士のトラブルは打ち合わせなどでふりかえりを行っています。経験などで対応に差がでないよう、職員一人ひとりのスキルの向上が必要であると考えています。</p>

2－3 児童館の安全管理

2－3－（1） 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】 (a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。 (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。 (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>毎年、災害・防犯・アレルギー対応・怪我対応などの自館のマニュアルを更新し、職員間で共有しています。避難訓練は毎月一回、様々な状況を想定した訓練を実施しています。今年度も警察と連携して防犯訓練を実施し、不審者が侵入してきた際の避難経路や、通報の方法、さすまたの使い方などを学びました。</p> <p>また、子どもの怪我や体調不良の対応は、すぐに保護者へ連絡がとれるように児童票の提出をお願いしています。</p>

2－3－（2）

利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。

【判断基準】

- （a） 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。
- （b） 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。
- （c） 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

☒a）、☐b）、☐c）

各部屋で安全に遊べるように、定期的に遊具や玩具の点検や遊び方の見直し等を行い、職員間で情報共有をしています。

また、毎月一回実施している避難訓練は、児童館、学童保育クラブの常勤職員の全員がそれぞれ担当し、訓練の企画内容を決めるようにしています。一人ひとりが企画立案していくことで、様々なシチュエーションを想定した訓練を実施することができています。